

川平地区 社協だより

第84号

令和3年3月1日発行

川平地区社会福祉協議会
発行責任者 会長 伊東 祐朗
編集 地区社協広報部

令和2年度 川平赤十字奉仕団研修会

令和2年11月14日、川平コミュニティセンターにおいて「令和2年度 川平赤十字奉仕団研修会」を、コロナ禍なので3密を避けての42名の参加で開催しました。

《テーマ》

(1) DVD鑑賞 『赤十字のしくみと活動』

(2) 講話 『新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう』
～負のスパイラルを断ち切るために～

講師：日本赤十字社宮城県支部 組織振興課長 小泉 信男先生



日赤公式キャラクター
ハートちゃん

最初に「赤十字のしくみと活動」のDVDを視聴して、災害時はもちろん日常における保健衛生の確保について、歴史の紹介や活動理念の話から、社会での役割を果たしている赤十字活動の大事さを痛感しました。

コロナウイルスについては病気そのものに強く関心を持ち対策を考えがちですが、次の3つを知り、すべての人がそれぞれの立場でできることに取り組み、笑顔の日常を確保するために正しく知り、正しく動くことが必要との実感をえました。

「体の感染症」 病気の症状、予防策

「心理的感染症」 「不安や恐れ」の人から人への伝染で、「気づく力」「聴く力」「自分を支える力」を弱めていくので、自分と向き合い、いつもどおりにいることが大切で、自分ができていることを認めること。

「社会的感染症」 「嫌悪」「偏見」「差別」は支えあう連帯する社会のシステムが停止します。不確かな情報を拡散しない。差別的な言動に同調しない。不安をあおらないこと。

当日の様子



赤十字奉仕団研修会風景



(川平赤十字奉仕団副団長 菅沼勇・記)

～いきいきサロン会の報告～

いきいきサロン「プチ秋祭り&sports day」を10月18日に開催しました。ニュースポーツを取り入れ、「バグー」「ラダーゲッター」「輪投げ」「ボールダーツ」などの競技に、全員が参加できるよう工夫しました。簡単なものから難しいものまで、道具を使って楽しく体を動かすことができました。

10月27日「日帰り温泉旅行」では、送迎バスと休憩室を貸し切りにしてもらい、青根温泉「山景の宿・流迎」で日頃の疲れもとれたようでした。

12月10日は毎月開催している「いきいき健康体操教室」の終了後に意見交換会を開催しました。今後も3密を避け、健康で楽しく体を動かすことができるように願っています。

(川平わかば町内会福祉部長 中野智美・記)

～いきいきサロン活動報告～

西勝山町内会いきいきサロンは、令和元年度は他地域より1回多く7回実施し、その結果年間300人以上の参加を達成しました。令和2年度は350人を目標に企画を立てましたが、コロナ感染問題で実施できず残念の一言です。

そんな中、昨年11月にディスコン教室を行い、参加者は笑いあいの楽しい軽スポーツを体験しました。内容は、岡山県で生まれた、誰でもいつでもすぐにはできる楽しいスポーツで、ディスク（円盤）をコントロールすることからディスコンと呼びます。競技方法は2チームに分かれ、ポイントに近づくように投げる簡単なルールで、ポイントに近いチームの勝利となります。

社協だよりをご覧くださいの皆さんもぜひ一度体験してみませんか。ご連絡いただければこちらから出向いてご指導いたします！ 連絡先：西勝山町内会福祉部長 和泉忠男

昨年12月は恒例のフラワーアレンジメント教室を開催予定でしたが、コロナ感染拡大のため中止といたしました。早くコロナウイルスが終息しみんなが「仲良く楽しく元気よく」活動できて健康な生活ができるように頑張りましょう。

実際の競技風景

～紹介パンフレットより～



サロン当日の参加者の皆さん

(西勝山町内会福祉部長 和泉忠男・記)

～コロナ禍を吹き飛ばせ～

今年は、昨年までの当たり前の日常がこんなに大切なものだったかを気づかされた年でした。昨年までは年6回開いていた「いきいきサロン」も今年はやっと2回だけ、静かに静かに催しました。

「いきいき体操」の活動も縮小し、このような状態で、一人暮らしの高齢者の方は大丈夫かなと案じておりました。早くコロナが落ち着いて、高齢者の方にもっと「みんなと会って、話して、笑って、食べて」の喜びを感じていただきたいと思います。

写真は今年度2回目のサロン会の様子です。コロナに負けないように健康体操（ストレッチ・筋力トレーニング・全身運動）をして、静かに大いに盛り上がりました。



サロン当日の風景

静かに盛り上がりました！



(川平団地町内会福祉部長 谷岡洋志・記)

～今年度を振り返って～

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は4月からのサロンは中止となり、各方面からの協力や調整を重ねてようやく昨年10月からの開催にこぎつけたのもつかの間、協議の結果、1月から3月までの活動も再び中止となってしまいました。今年度は児童館との共催行事も開催できず、子どもたちやお母さん、スタッフの楽しそうでにぎやかな声を聞くことができず残念でした。

新型コロナウイルスの収束が見えない中、来年度の活動についてはまだ未定ですが、決まり次第回覧版や掲示板のポスター等で随時お知らせいたします。たくさんの子どもの楽しそうな笑顔や笑い声がホールいっぱいにあふれる日が、1日でも早く訪れることを、スタッフ一同心待ちにしています。



ソーシャルディスタンスを保つためにホールを使用。使うおもちゃは限定し、スタッフにより消毒を実施。



(川平地区主任児童委員 黒氏清美・記)

《各種報告》

《令和2年度 日赤活動資金（会費）御礼報告》

川平赤十字奉仕団

団長 伊東 祐朗

川平地区社会福祉協議会

会長 伊東 祐朗

(公印省略)

赤十字活動資金（会費）募金活動に、ご協力いただきありがとうございました。

「赤十字の活動は、国や地方自治体からの補助金はなく、赤十字の人道的な活動に賛同していただいた皆様からお寄せいただく活動資金（会費）により成り立っています。」

皆様の善意が赤十字事業に多くの支援となることを願い、集計結果のご報告とさせていただきます。

区域名	人数	会費合計額	奉仕員氏名
川平団地町内会	999	383,400	谷岡 洋志
川平わかば町内会	176	59,786	中野 智美
西勝山町内会	642	302,500	和泉 忠男
杉罫町内会	245	120,900	山田 智子
中山北部町内会	576	288,400	筋野マサエ
5区域	2,638	1,154,986	

《令和2年度 社協会費御礼報告》

川平地区社会福祉協議会
会長 伊東 祐朗
(公印省略)

本年度も募金活動にご協力いただきありがとうございました。

社会福祉協議会（社協）は地域福祉の推進を図ることを目的とした社会福祉法人です。仙台市社会福祉協議会は、『一人ひとりの市民が、その人らしく地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり』を基本理念とし、地区社会福祉協議会や町内会、福祉団体・施設、ボランティアの協力をいただきながら、行政機関等と連携してさまざまな福祉事業を進めています。〈仙台市社会福祉協議会会員加入のお願いのチラシより抜粋〉

区域名	特別賛助会費		普通会費		会費合計額	地区担当理事
	人数	金額	人数	金額		
川平団地町内会	3	3,000	981	281,150	284,150	谷岡 洋志
西勝山町内会	0	0	641	192,500	192,500	和泉 忠男
中山北部町内会	1	1,000	574	172,500	173,500	筋野マサエ
杉崎町内会	1	1,000	245	73,600	74,600	山田 智子
川平わかば町内会	5	5,000	150	47,900	52,900	中野 智美
合 計	10	10,000	2,591	767,650	777,650	

《令和2年度 共同募金（赤い羽根）納入御礼報告》

川平地区社会福祉協議会
川平地区共同募金会
会長 伊東 祐朗
(公印省略)

本年度も募金活動にご協力いただきありがとうございました。

区域名	人数	募金合計額	担当理事
川平団地町内会	975	207,000	谷岡 洋志
西勝山町内会	639	279,400	和泉 忠男
中山北部町内会	563	146,350	筋野マサエ
杉崎町内会	245	74,200	山田 智子
川平わかば町内会	193	46,870	中野 智美
5区域	2,615	753,820	

(問い合わせ先：経理部 阿部 幸子)

編集
後記

今年度最終発行号となります。来年度も、より読みやすく、社協活動をわかりやすくお伝えできる紙面となるよう努めてまいります。
よろしくお願いいたします。

《編集スタッフ一同》

